

【世界遺産区域】

小笠原諸島の中で、世界遺産の区域となっている島は、北から聳島列島、父島列島、母島列島、火山(硫黄)列島のうち北硫黄島と南硫黄島、西之島です。父島・母島では、集落地などを除いた陸域と、一部周辺の海域が世界遺産の区域となっています。

父島では、島の東部を中心に乾性低木林が広がり、そこに希少な生きものたちを見ることができます。南島では、美しい景観やヒロベソカタマイマイの貝殻などがあります。母島の石門にある湿性高木林は、固有種の宝庫です。

